日本共産党青森県議会議員

安藤はるみの

新・アジサイだより

SIDE-A

5月18日告示6月4日投票の県知事選挙で党推薦よこがき成年知事候補は「県民の暮らし・平和・自然環境を守る」「国策追随から国にきっぱりもの言える県政への転換」を掲げ闘いましたが得票105516、得票率1．77％という結果で終わりました。ご支持下さった皆様に感謝致します。次は総選挙で高橋千鶴子衆議院議員を先頭に頑張ってまいります。

高橋ちづ子衆議院議員と共によこがき候補の応援に立つ安藤。

5月27日　大雨で冠水したりんご園地視察。その後、下大川集会場で生産者からお話を聞く会開催。

委員会調査

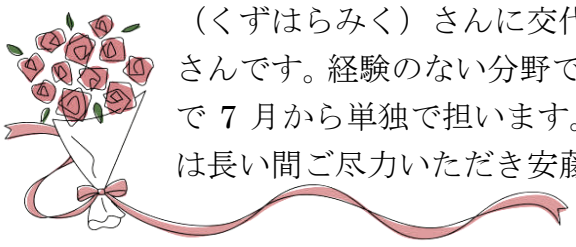
6月6日から8日まで建設委員会の調査がありました。右下は、秋田県で進めている秋田港の洋上風力発電所をバックに。左下は令和3年12月7日に起きた砂子瀬地滑り現場で改修工事は6月中に工事発注予定。）

6月3日　岸田政権は許さない！憲法守れアピール行動

勝っ去らわれる
雪崩のごとく
下北に

（はるみのワクワク川柳）

お知らせ



はるみ事務所のスタッフが交代します。本間麗子さんと坂本恵津子さんから、葛原未来（くずはらみく）さんに交代します。葛原さんは、40代の女性で3人のお子さんのお母さんです。経験のない分野ですが意欲的に引き受けて下さいました。6月は引き継ぎ期間で7月から単独で担います。皆さまよろしくお願いいたします。本間さんと坂本さんには長い間ご尽力いただき安藤を支えて下さったことに感謝いたします。

ほっとタイム

（六月の庭）

今我が家の庭では、シャクヤクやピンク・オレンジ色のバラがほぼ咲き終わり、赤いバラとサツキ・イチリンソウ・ラベンダーが心を和ませてくれている。そして、それよりも何よりも最も勢いづいて勢力を伸ばしているのがクローバーだ。亡き夫が34年前に庭づくりを始め懸命に植えた芝生はほぼ壊滅状態になり、その代わりにこのクローバーが生き生きと育っているのだ。初めの頃は芝生から顔を出したクローバーを懸命に取っていたが、次第に追いつかなくったというわけだ。でも元気に育つクローバーがじゅうたんの様になっているおかげで、2歳3か月になるれい・すずちゃんが庭で遊ぶ時、いくら踏んでも大丈夫だし花を取っても気にならないし、これで良しと思うようにしている。

庭には、大きな鉢が2つ一番日が当たる場所に置かれている。1つは睡蓮鉢で、植木屋さんが面倒見てくれていて冬は水を切って越冬し、春になると水に戻し肥料をあげ、おかげで今つぼみがたくさんついている。もう一つの鉢は、野鳥の水浴び用だ。睡蓮鉢で鳥たちにばちゃばちゃやられると葉や花が痛むので、こちらでどうぞと水浴び用の水を張っているのだ。しかし、こちらの思いに反し、丸い葉っぱの広がる睡蓮鉢で水浴びするひねくれやさんもいる。そんな光景が今や一変する時がある。れい・すず姉妹が庭に出た時、この水を見ているだけですむわけがない。真っ先に鉢に進み、お風呂で使っていた小さな黄色いバケツやスコップでいかにくみ上げるかに苦心する。もちろん野鳥もその時は静かに見守っていて近づかない。そんな姿をじいじと一緒に眺めてみたかったとつい思ってしまう。

発行：安藤はるみ　事務所　弘前市宮川２丁目３－２　電話０１７２－３５－７０２１　自宅０１７２－３５－２２７０
９：００～１４：００（土・日・祝日左記時間以外は留守電対応）
Ｅメール　ando-harumi@theia.ocn.ne.jp　ホームページアドレス　http：// ando-harumi.com/
Twitter　安藤はるみ　日本共産党　で検索　フォロワー211人

５月の相談件数　４件
ホームページアクセス数 53,923 件

日本共産党青森県議会議員
安藤はるみの
新・アジサイだより

SIDE-B

5月19日
建設委員会で質問

都市計画道路３・４・２０号紺屋町野田線の整備についての進捗状況と工事の見通しについて質す

この事業は、２０１６年・平成28年度から総事業費46億円の予算で進められてきているが、当初の住民説明会で観光バスが通りやすいようにと事業を歓迎する声がある一方、通学路・生活道路として支障は出ていないので当初予定幅員の計画は変更すべきという声があがりました。また、土地評価業務の指名競争入札を巡る官製談合事件が起きた事業であり、住民の不信感を払しょくし住民の声に寄り添うことの必要性を訴え質問に入りました。

澤里秀典都市計画課長は「都市計画道路３・４・２０号紺屋町野田線は、弘前市紺屋町を起点とし、弘前公園の北側を経由して同市和徳町に至る全長約２キロメートルの幹線道路です。亀甲町の津軽藩ねぷた村付近から田町１丁目付近までの県道区間８９０㍍については、現況付近が狭いところで約７メートルしかなく、朝夕渋滞が発生しており、又歩道のない区間も多く歩行者や自転車の円滑な通行が確保されていない状況であることから平成28年度から事業に着手している。本事業では幅員２．５メートルの歩道を両側に設置し、全体の幅員を14メートルに拡幅すると共に、主な交差点では右折レーンを設置することとしている。これまで用地買収を先行させており、用地進捗率は、昨年度末時点で面積ベースで約５８％となっており、本年度も引き続き用地買収を進める。」と答弁。

安藤は、都市計画の変更はあったのか質すと

課長は「住民説明会での皆さんの意見を参考にして、平成29年２月29日に都市計画での変更を行っている」と答弁。

さらに対象となる用地買収の件数と契約完了している件数について質すと

課長は「用地交渉を必要とする方が全体で登記簿上３２６名あり、昨年度末で１３４名の方と契約が完了している。」と答弁。

今後の工事の見通しについて課長は

「連続した一定区間の用地買収が完了した間から順次実施することとしており、来年度の工事着手を予定している」としました。

延長線の保健センター付近は弘前市道だがどのような協議になっているのか質すと

課長は「県道事業区間の終点から先の市道区間については弘前市が都市計画道路事業として整備を行うための検討をしていると聞いている」と答弁しました。

腰巻川の河川改修についての進捗状況と今後の見通しについて質す

弘前市に流れる腰巻川は、平川合流部から支川ほらばみ川までの延長３５３０メートルは河川改修が完了していますが、その上流部となる城東５丁目の天理教弘前分教会付近から南大町ユニバース裏までについては、手つかずで大雨の際頻繁に越水が起きており、早期改修が待たれています。進捗状況について質すと

村田尚樹河川砂防課長は「上流６２０メートルまでの未改修区間において、河川の線形や断面形状の比較検討地質調査などを実施してきた。一方、未改修区間の上流部ではＪＲ奥羽本線、弘南鉄道弘南線が８線横断しておりさらに、当該箇所が住宅密集地であることや鉄道を運行させながら軌道面に近接した位置で架道の整備が必要であるという技術的に難しい現場状況を有していることから県と鉄道事業者間で横断行動や工事の施工性、安全性等に関する協議を現地立ち合いを令和２年３月以降合計11回行っている。昨年６月の協議においては鉄道交差部の構造についてボックス形式や橋梁形式の比較検討を行い現在、次回の協議に向けて更なる整備を進めている」と答弁しました。

次回の協議日程、詳細設計について質すと

課長は「７月までにはＪＲの橋梁形式などについて協議したいと考えている。詳細設計については、今後協議が整い次第ＪＲの側で行うこととなっている」と答弁。

さらに、河川改修が着工されるまでの大雨の対応について質すと

課長は「事業が完了するまでの洪水の備えとして特に河川から越水か所の危険性が高い区間について土嚢による危険対策を講じており、架道内の堆積土砂の撤去なども行っている」としました。今後の見通しについて

課長は「これまで県と鉄道事業者間で検討してきた課題を中心に整理してきたことをふまえ、鉄道交差部の複数の改築案について今年度も引き続き鉄道事業者と協議を進めます。この協議が整った後、詳細設計を行い、地元説明会を開催していきたい。今後とも地元の皆様のご協力、ご理解を頂きながら着実に事業を進めていきたい」と答弁しました。